

船舶事故等調査報告書

平成21年1月29日
運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008横第46号	
事故等名	貨物船センチュリー18衝突(岸壁)	
発生年月日	平成20年9月24日 08時00分ごろ	
発生場所	お台場ライナーふ頭 I 岸壁	
事故等調査の経過	調査の概要:平成20年10月21日 横浜・地方事故調査官が海上保安庁から損傷状況等について電話録取 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
認定した事実		
船種・船名・総トン数	A 貨物船センチュリー18(カンボジア船籍) 1,505トン	
船舶番号(IMO 番号)	(8022286)	
船舶所有者等	TOUHOUKU SHOJI CO., LTD	
船種・船名・総トン数	B 貨物船 QING CHUAN(中国船籍) 7 2,377トン	
船舶番号(IMO 番号)	(8130825)	
船舶所有者等	QINGCHUAN7 SHIPPING CO., LTD	
乗組員等に関する情報	A 船長	
負傷者	A 負傷者 なし	
損傷	A 正船首横10cm縦0.3cmの亀裂及び擦過傷	
	B 擦過痕	
	岸壁 10cm四方欠損	
事故等の経過	A船は、お台場ライナーふ頭 I 岸壁に水先人のきょう導のもとに着岸する際、平成20年9月24日08時00分ごろ、船首部が岸壁に衝突した。その後、同岸壁着岸中のB船に接触した。 当時、気象及び海象が平穏であった。	
事実を認定した理由	気象・海象の関与	なし
	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	判明した事項の解析	気象及び海象は平穏であったこと 主機等の故障等はなかったこと 本船は、着岸する際の操船を適切に行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が着岸する際の操船を適切に行わなかったため、岸壁に衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	